

5 本学の歴史的な建造物(文化財)

国指定重要文化財

活用される文化財:
Ex. 坂の上の雲



ナンパースクール
明治20年(1887)4月
一高 東京市 東京大学
二高 仙台市 東北大学
三高 京都市 京都大学
四高 金沢市 金沢大学
五高 熊本市 熊本大学



五高記念館

工学部研究資料館

化学実験場

化学実験場:
日本化学会
「化学遺産」登録
および
文化庁の
「活用保存文化財」指定
に向けて努力中



学長特別講義(階段教室)
H24年度
新入生1884人に実施

剛毅木訥
質実剛健

7

最先端研究の一例から
(キャンパスツアーでお楽しみいただけただけでしょうか)

本学は我が国を代表する
研究拠点大学

その他の熊本大学の最近の活動例から

しっかりした研究基盤に基づく高度で質の高い教育を保証

熊本大学

在学生、卒業生、職員、市民の皆様が、
誇れる大学であり、社会の憧れの存在として、
地域に根ざして
グローバルに展開する未来志向の研究拠点大学



6

再春館(医学校)(1756) 再春館から255年余、五高から125年の
歴史と伝統を誇る熊本大学
第五高等学校(1887) (60年史編纂事業進行中)
⇒60周年事業(2009)
新制熊本大学(1949)

第五高等学校、熊本医科大学、熊本薬学専門学校、熊本師範学校、
熊本青年師範学校、熊本工業専門学校などを統合

4キャンパス; 7学部
8大学院, 18研究所・研究センター



年間予算 約514億円(平成23年度)
(その内:国費157億円(約30%))
外部資金 約63億円(科研費26億円/寄附金18億円/共同・受託研究等19億円)

学生数: 10,126 (含 大学院学生: 2,126);
教員: 1,023; 職員: 1,519 (附属病院の看護師等を含む) (as of May 1, 2012)
留学生 ~450 (今年: 395 + ca.70 (10月入学)) 卒業生: >120,000

8

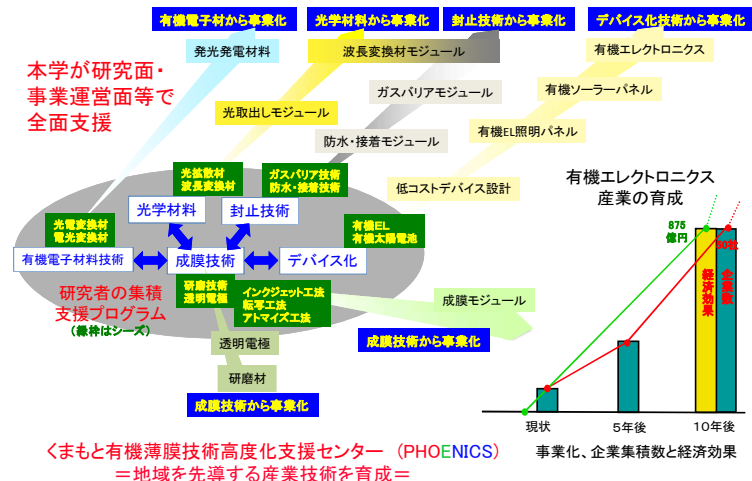
a 五高記念館「変わらぬ五高イズムに触れる」
教鞭を執った夏目漱石や小泉八雲などの貴重な資料を展示し、ユニバーシティミュージアムとして整備されている。国指定重要文化財の旧制第五高等学校の本館を見学します。

b 工学部研究資料館「動く!明治時代の機械遺産」
旧制熊本高等工業学校の機械実験工場と明治時代の11台の工作機械群が国指定重要文化財で、当日は機械を動かした当時の様子を再現します。

c パルスパワー(G-COE)&バイオエレクトロニクス研究センター「先進の研究現場探訪」
蓄積エネルギー(パルスパワーとも呼ばれ、超高出力の瞬間的エネルギーです。排ガス処理等の環境浄化、殺菌等のバイオ、がん治療等の医療福祉、コンクリート等のサイクリングなどへの研究が進められている研究現場を訪れます。

d 先進マグネシウム国際研究センター「KUMADAI不燃マグネシウム合金を知る」
不燃性でありながら従来の航空機の金属材料チタンを凌駕する軽さと強さを持つKUMADAI不燃マグネシウム合金が開発され、航空機などへの実用化に向けた研究が進められている研究現場を訪れます。

2011 短期 中期 長期 2020



平成24年度リーディング大学院プログラムに採択

(「博士課程教育リーディングプログラム」)

「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO」

養成したい人材像

九州・アジアの社会的ニーズを理解し、地域と世界を結びつけて、諸課題に挑戦できる グローバル(グローバル+ローカル)な健康生命科学パイオニアとしてのリーダー

プログラムの特色(英語での教育)

- 健康生命科学の専門家の育成
- 九州・アジアを中心に活躍する グローバル(グローバル+ローカル)な人材の育成
- 行政・産業界との連携 (熊本県知事や熊本市長も参加)
- 本学のアジア戦略を活用した海外インターンシップ
- 社会文化科学にも精通した人材を育成



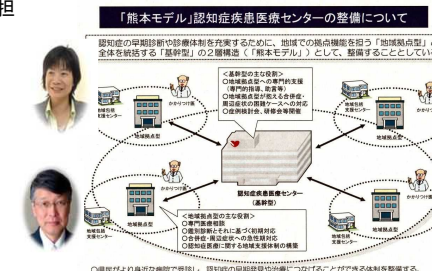
地域医療の担い手である附属病院等の機能強化

- 地域医療拠点体制などの充実 (先端医療機器/コメディカルスタッフの充実)
- 臨床医学教育研究センター
- 病院再開業 (病棟の整備に続いて 外来診療棟の整備)
- 移植医療センターの構築
- 診療科の整備と地域での機能分担 などともより、



最先端生命科学研究でも世界を凌駕:世界拠点

発生医学研究所
エイズ学研究センター
国際先端医学研究拠点 など



熊本大学 震災復興・日本再生支援事業

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujuhou/katudou/earthquake/support>

- 医療支援
- 救済物資支援
- 学生/研究者支援
- 職員派遣 など、
- できることは全て対応しています

支援プロジェクトの例:
地域経済の回復・再生・創成に向けた
世界最先端観測機器による 水中環境事業
(国立大学協会選定事業)

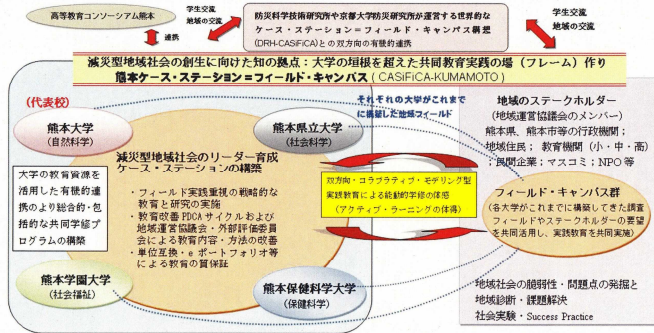


鬼仙沼湾の地形調査の例

(概要) 鬼仙沼地域で、世界最先端の性能を有する音響解析装置及びモニタリングロボットで地形・底質を調査し、収集した位置情報、画像及びサイドスキャンイメージに基づいて、高精度3D地形図と底質・流失物の分布図を作成し、自治体に情報を提供する。

取組名称：減災型地域社会のリーダー養成プログラム
 取組大学：熊本大学（代表校）、熊本県立大学、熊本学園大学、熊本保健科学大学

1. 熊本市内の国公私4大学がそれぞれ教育資源を活かした有機的連携により、「減災型地域社会の創生に向けた地域の拠点」実用に向けた具体的な共同教育実践の場（フレーム）となる熊本ケース・ステーション・フィールド・キャンパス（CASIFICA-KUMAMOTO）を全国に先駆けて構築する。
2. それぞれの大学の地域のステークホルダーと協働しながらこれまでに構築してきた地域内の関連フィールドを共通のフィールド・キャンパス群と位置づけ、学生から社会人を含め双方方向・コラボラティブ・モデルリング型実践教育による協働的学習を体験する。
3. 少子高齢化、知識基盤社会における減災型地域社会構築とその実践リーダー育成を4大学が協力し、地域への貢献の役割を果たす。



高等教育コンソーシアムくまもと



熊本市知事と熊本市長、熊本大学長は熊本市のまちづくりの課題や将来のビジョンについて協議する。くまもと都市戦略会議が21日、熊本県庁で開かれ、熊本市長、熊本大学長、熊本市教育長、熊本県教育長、熊本県立大学学長、熊本学園大学学長、熊本保健科学大学学長が出席し、熊本市のまちづくりの課題や将来のビジョンについて協議する。熊本市長は、熊本市のまちづくりの課題や将来のビジョンについて協議する。熊本市長は、熊本市のまちづくりの課題や将来のビジョンについて協議する。

くまもと都市戦略会議
 熊本市長、熊本大学長、熊本市教育長、熊本県教育長、熊本県立大学学長、熊本学園大学学長、熊本保健科学大学学長が出席し、熊本市のまちづくりの課題や将来のビジョンについて協議する。

くまもと都市戦略会議
 熊本市長、熊本大学長、熊本市教育長、熊本県教育長、熊本県立大学学長、熊本学園大学学長、熊本保健科学大学学長が出席し、熊本市のまちづくりの課題や将来のビジョンについて協議する。

コンベンション都市
 留学生(国際化)/学園都市
 駅から中心市街地の賑わい
 ==> 新産業戦略を追加(エネルギー基地熊本)



熊本版ダボス会議の開催

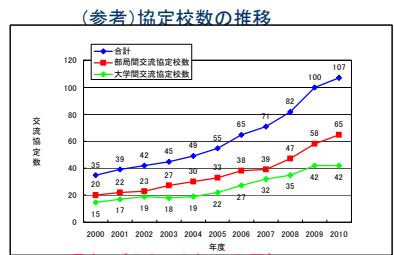
留学生受入の目標 / 交流協定校数の推移

- 【留学生数の目標】 ◆第二期中期前半で500名突破 ◆将来的に1,000名へ

国際連携
 国際産学連携
 サテライトオフィスの設置
 熊本大学—中国/山東大学 (2010年3月)

熊本大学・海外オフィス
 上海(中国)/大田(韓国)に加えて、
 済南(山東大学)/大連(大連理工大)/
 スラバヤ(インドネシア)等
 ==> 上海共同オフィスの実現 (2012: 県、市と共に)

連携研究室
 イズミル(トルコ/エーゲ大学)
 成都(中国/四川大学)等



現在(2012年10月):
 31カ国 138機関と連携
 我が国の将来のためにも極めて有効
 (相互理解: 外交/国家間の安全保障等にも寄与)

大学を取り巻く極めて厳しい環境

17

運営費交付金等(国(社会)からの支援)に対する厳しい状況

==> 社会／関係者からの厳しい意見(批判)

==> 支援: 毎年減少: 来年度は、さらに10%減!

==> (H24、25年度)東日本大震災への対応

国立大学とは何か／その役割は? (なぜ国立大学が必要か)

国民の期待や社会の要請に如何に應えるのか

==> 皆さんと一緒に、社会の期待に応えたい

大学の使命: 教育(人材育成) / 研究(知の創造) / 社会貢献

中長期的な対応と当面の対応の両面が要請されている

教育改革が必要

19

問われる教育の質の転換 = 学習から学修へ =
中央教育審議会答申(H24. 8. 29)

教養教育: 質の高いリベラルアーツ

グローバル人材／リーダー人材の素養

==> 教養教育機構が部局と連携のもとに

専門教育: 基礎力／応用力／チーム力／問題設定能力／目的意識

スキル教育: 種々の手段を使いこなす

情報発進力: 学修／語学力／表現力／議論力／発信力 など

==> 図書館を大改修: = 学習から学修へ =

==> 実社会と繋がりを意識した教育で、全学教育と連携しながら、
各部局が責任を持って社会や世界に通用する人材(「財」)育成を!

==> 将来、学生がグローバル社会で生きていく力を身につける:
大学としての責任を果たす!!

大学改革実行プラン(国立大学への大きな期待)

18

背景: 政府の国家戦略会議からの強い要請(大学の役割が問われている)

==> 社会の変革のエンジンとなる大学としての期待

方向性: 大学の機能の再構築(国立大学の存在意義を再考)

迅速で、実感できる(目に見える)取り組みを!

実行計画: 平成24、25年度に

全ての国立大学部局は、その「存在意義／実績を明確に」

国立大学各部局の存在基盤となる役割を明確に

==> 大学ビジョンを示す／存在理由と現実と照合評価

役割分担: 世界と戦う研究・グローバル人材／COC(地域連携) 等
(情報公開: 客観的指標による評価)

教育: 入試の在り方(含: 秋入学)／教育の質: 組織的な教育／評価

ご清聴ありがとうございました

20

在学生／卒業生／教職員／市民の皆様 にとって
誇れる大学 から 憧れの大学 へ

イチロー語録

「打席に立って四球を待っていたら、記録は作れない」

「動き続ければ必ず突破口が見えてくる」

野茂英雄:

「努力は必ず報われる。報われないのはその努力が足りないからである」

全ては、我々の手の中にある/
困難な状況の中で、輝く将来に向けて一層努力します!!